



Brush up Program
for professional

平成 28 年度文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)
に認定されました。

社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムです。

令和 3 年度

高齢社会における地域活性化コーディネーター
養成プログラム

募集案内



KYORIN

杏林大学

目次

- 本プログラム概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- 令和3年度「高齢社会における地域活性化コーディネーター
養成プログラム」実施要領・・・・・・・・・・P4~6
- 開講科目について・・・・・・・・・・・・・・P7
- 必修科目(特別講座A)・・・・・・・・・・・・・・P8,9
- 必修科目(特別講座B)・・・・・・・・・・・・・・P10,11
- 選択科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12,13
- 応募方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14,15

巻末【履修希望者提出書類】

- 「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修願
- レポート用紙

〔同封物〕

○ 書類提出用封筒

(郵送の際は 120円切手 を貼付してください。50g~100g の場合は 140円)



履修証明プログラム

大学等が社会人(市民)を対象に提供する特別の課程
カリキュラムを修了し、本学の認定を受けた方には履修証明書が授与されます。



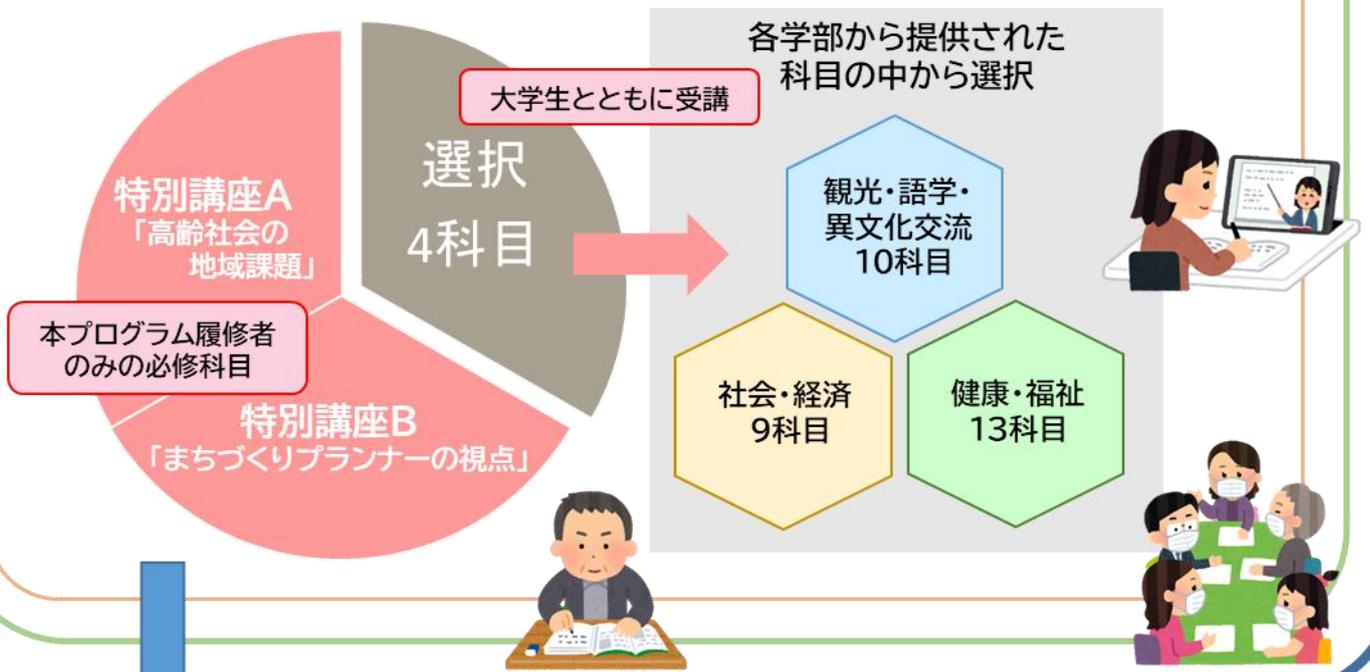
Brush up Program
for professional

職業実践力育成プログラム 【Brush up Program for professional】

履修証明プログラムのうち文部科学大臣に認定された、関連分野の知識、技能を
習得するために構成された専門的なコース

【Brush up Program for professional】
本学ではこの頭文字をとって、プログラムのことを「BP」(ビーピー)と呼ぶことがあります。

【杏林大学】 高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム



修了(1年後)

履修証明書

※履修者に単位・学位が授与されるものではありません。



地域でさらなる活躍

高齢社会における地域活性化コーディネーター 養成プログラム 実施要領

<趣旨>

本プログラムは既に地域活動を行われている方や、今後さらに地域活動を深めたい、広げたいと考えている方を対象に、地域振興やコミュニティに関する基礎知識や高齢社会における健康をめぐる諸問題を学びます。また、地域活動に必要なファシリテーション能力や対人理解能力、健康力アップ支援策の習得を目指し、更なるスキルアップを目指します。

本講座の開講は定年前後世代や高齢の方はもちろんのこと、どの世代の方にも「学び直し」、「学び続ける」機会を提供するものです。

<講義>

本プログラムは必修科目と選択科目で構成されています。

- ・必修科目（特別講座A：講義型、特別講座B：実践型）の2科目は、年間（春学期及び秋学期）を通して1科目15回の講義で組み立てられ、どちらも履修生全員に受講していただきます。
- ・選択科目は春学期または秋学期ごとに、1科目15回の講義を、本学の学生と一緒に受講します。32科目を用意しておりますので、関心のある講義を4科目以上選択してください。

<履修証明書交付要件>

1ヵ年（春学期・秋学期）のうちに上記の科目（必修科目2科目、選択科目4科目以上）を履修して修了要件を満たした場合に「履修証明書」を発行します。

修了要件として、各授業の出席率が2/3以上（全15回中10回以上の出席）であること、成績基準を満たすことを原則とします。ただし、災害など非常時下における個人的事由によらない場合は、出席率が満たなくても、履修証明書を交付することがあります。

<資格・対象者>

- ・高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する社会人の方
- ・地域活動を既に行われている方、今後さらに地域活動を深めたい、広げたいと考えている方

<履修期間>

令和3年4月から翌年3月までの期間（1ヵ年）となります。

<履修に際して>

- ① 講義は本学学生とともに履修する科目もあります。
課題についても学生と同様にレポート提出等を前提とします。
- ② 原則として来校して受講いただきますが、オンラインでの受講になることもあります。
オンライン授業は下記のように実施されます。
 - I. 資料や課題提示による授業
 - II. 収録動画配信による授業
 - III. リアルタイム配信による授業（授業内でのチャットによる出欠確認や小テストなど有り）
- ③ 課題などの提出は、PCでの作成、送信が求められる場合があります。
(Microsoft Word・Excel・PowerPoint、PDFでの提出、メール添付など)
- ④ 授業に臨む意欲や態度、積極性、判断、思考やレポート等の課題、試験などにより成績評価を行います。
- ⑤ 出席状況の確認を含めて前期終了後に中間指導を実施します。

※ Zoom 他、動画視聴が可能な PC 環境が求められますのでご注意ください。

<登録料・履修料・諸費用>

履修資格・対象者	登録料	履修料
・高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する 社会人の方 ・地域活動を既に行われている方、今後さらに地域活動を深めたい、広げたいと考えている方	45,000 円 (税込)	21,000 円 (税込)

※登録料、履修料のほか、別途「学生教育研究災害傷害保険」と「学研災付帯賠償責任保険」(合計 1,340 円)に加入していただきます。

※実験、実習等に要する費用、その他、教材等に要する費用は、履修生の負担となります。

※お支払いいただいた履修料等はお返しできません。

<開講場所>

杏林大学 井の頭キャンパスおよび、三鷹キャンパス（科目による）

※駐車場、駐輪場はございません。

※各科目の授業教室については、ガイダンス時にお知らせします。

お願い

井の頭キャンパスには徒歩または公共交通機関を利用してお越しください。
※井の頭キャンパスへのアクセスの詳細は、右のQRコードからご確認ください。



開講科目について

本プログラムは必修科目と選択科目で構成されています。
必修科目（特別講座A・B）は、年間（春学期及び秋学期）を通して1科目15回の講義で組み立てられ、選択科目は春学期または秋学期の中で、原則1科目15回の講義で組み立てられています。（集中講義を除く）
必修科目2科目と、選択科目4科目以上を選択し、合わせて6科目（135時間）以上を履修していただきます。

講義日が祝日や行事と重なった場合には補講を行います。

■必修科目（特別講座A） ※詳細はP8、9を参照

原則的に水曜日、6時限（18：00～19：30）の受講となります。

■必修科目（特別講座B） ※詳細はP10、11を参照

特別講座Bは原則的に水曜日、15：30～17：30に開講します。

※必修科目は1年間で1科目につき合計15回の講義を用意しております。

■選択科目 ※詳細はP12、13を参照

指定する32科目より4科目以上の科目を選択履修していただきます。

■時間割

1時限	9：00～10：30	4時限	14：40～16：10
2時限	10：40～12：10	5時限	16：20～17：50
3時限	13：00～14：30	6時限	18：00～19：30

※特別講座Bの開講時間：15：30～17：30（原則）

必修科目（特別講座 A）

テーマ：『高齢社会における課題とその取り組み』

医学部・保健学部・総合政策学部・外国語学部の専門分野を複数の教員がオムニバス形式で担当する杏林大学特有の学び直しを实践する科目です。

少子高齢社会に直面しつつある都市の地域課題について、先進事例の紹介や実技を通して、対応策の現状について学びます。また、それらの学びを通じて「レジリエンス」（回復力）を持つまちづくりについて考えていきます。

そして今後の地域貢献やさらには地域のリーダーとして活躍していただくために、地域内でのつながりの創出やコミュニティ、言語・異文化コミュニケーション、健康で活力ある生活を実現するための多様な基礎知識、課題、各方面の取り組みなどを学びます。

※オムニバス形式とはテーマに合わせて複数の教員の専門的な講義を集めて1科目としたものです。

※講義内容等が変更になる場合があります。



講義の様子



大学PC室にて、オンライン授業の受講



－スケジュール（特別講座A）－

原則 水曜日、6時限（18：00～19：30）に開講

回	日程	授業内容	教員
第1回	4月14日	イントロダクション「特別講座A」の概要について	古本泰之(地・外)
第2回	4月28日	加齢に伴う身体機能・運動機能の変化	石井博之(地・保)
第3回	5月12日	地域活性化のための 健康寿命延伸に対する取り組み	石井博之(地・保)
第4回	5月26日	災害時に身を守るために重要なこと	宮野收(保)
第5回	6月9日	避難所と衛生問題(地域での生活上の課題)	富田泰彦(医)
第6回	6月23日	防災対応カードゲーム『Cross Road』	進邦徹夫(総)
第7回	7月7日	「公開講演会」自主防災に取り組む実践事例報告	外部講師
第8回	9月22日	地域内産業の活性化	木暮健太郎(総)
第9回	10月6日	言語の視点から見る多文化共生の課題 ：地域社会の異文化交流	八木橋宏勇(外)
第10回	10月20日	観光と地域社会の対峙 ：異文化交流の場としての観光のあり方	古本泰之(地・外)
第11回	11月10日	災害からの復興と交流拠点の重要性① ：石巻川ノ上プロジェクト	三浦秀之(総)
第12回	11月24日	災害からの復興と交流拠点の重要性② ：地域コミュニティ	三浦秀之(総)
第13回	12月1日	孤立化する子育て環境の課題 ：子ども食堂から見える地域の課題	加藤雅江(保)
第14回	12月15日	地域で支える子育て支援	加藤雅江(保)
第15回	1月12日	まとめ ：講義での学びをふり返し、発表して共有する	古本、石井、井上(地)

(地)…地域交流推進室、(保)…保健学部、(医)…医学部、(総)…総合政策学部、(外)…外国語学部

必修科目（特別講座 B）

テーマ：『人口減少社会における地域活性化に向けてのまちづくり』

人口減少・高齢社会の時代には持続性のある地域の活力が求められており、地域に暮らす人たちのパワーをいかに活用するかが重要となります。地域の人々の内発の力を活用して、活力あふれるまちづくりを進めるために、コーディネーターとして必要な技法を学ぶのが「特別講座 B」です。

前半の座学において基礎知識と理論を修得し、後半は「もしも私がまちづくりプランナーであったなら」を大テーマに、担当教員から指示された小テーマ毎にグループに分かれて、自律性・自主性を持ちながら計画を遂行してアクティブラーニング（能動的学修）を行っていきます。特別講座 A、および特別講座 B で得た知識をさらに深め、技法を学びながら、住民主体のまちづくりについてまとめていきます。

※本講座は、教室内講義と学外フィールドワークで構成されます。

※各講義は原則 1 回 2 時間で実施されますが、学外活動が伴う場合は、2 時間を超えることもあります。

※講義内容等が変更となる可能性があります。



講義の様子



－スケジュール（特別講座B）－

原則として、水曜日 15:30 ～ 17:30 に開講

回	日程	授業内容	教員	
第1回	4月14日	イントロダクション「特別講座B」の概要について／グループワークの技法	古本泰之（地） 石井博之（地） 井上晶子（地） 木暮健太郎（総）	
第2回	4月28日	少子高齢社会の地域課題とプレイヤー／組織とリーダー		
第3回	5月12日	【公開講座】地域活性化に向けての実践事例報告①（愛知県東栄町） 「まちづくり物語 ～地域の人と文化をつなぐ太鼓プロ集団の試み～」 大脇聡氏：（有）志多ら 代表取締役・総合統合プロデューサー、 NPO 法人てほへ 副理事長		
第4回	5月26日	コーディネーターとは／ワークショップの進め方		
第5回	6月9日	【公開講座】 地域活性化に向けての実践事例報告②（山梨県丹波山村） 「まちづくり物語 ～蘇る関東で一番小さな村ー魅力を作り出したのは？～」 小村幸司氏：NPO 法人小さな村総合研究所代表理事		他
第6回	6月23日	【三鷹市職員より】 行政マンが捉えた地域課題：三鷹市の現状と課題		
第7回	7月7日	個別テーマのグループ分け／グループワーク		
夏休み期間：『自主学习』課題に沿った資料収集と調査（個人およびグループ）				
第8回	9月22日	自主学习の進捗状況発表／グループワーク	古本泰之（地） 石井博之（地） 井上晶子（地） 木暮健太郎（総）	
第9回	10月6日	第8回を受けて、焦点を絞ったプレゼン／グループワーク		
第10回	10月20日	第12回に向けて各テーマについて更なる調査分析（授業内で調査、情報収集）＜調査結果のプレゼン＞		
第11回	11月10日			
第12回	11月24日	「まちづくりプランナーの視点」構想づくり		
第13回	12月1日	構想の見える化（私のプラン、まちのイメージ）	他	
第14回	12月15日	成果発表		
第15回	1月12日	ふり返り		

（地）…地域交流推進室、（保）…保健学部、（医）…医学部、（総）…総合政策学部、（外）…外国語学部

選択科目

高齢社会における地域活性化を「健康・福祉」「社会・経済」「観光・語学・異文化交流」の3つの分野・視点から学ぶことができるよう、全体で32科目を設けています。その中から興味・関心のある科目を4科目（1科目15回の講義で構成）以上選択していただきます。講義は様々な形態（対面や遠隔など）で実施され、学生とともに履修していただきます。なお、時期・曜日・時限については変更の可能性がありますので、ご了承ください。



下記の32科目より
4科目以上を選択

提供学部 保：保健学部 総：総合政策学部 外：外国語学部

No	分野	時期	曜日	時限	科目名/担当教員	提供学部
1	健康・福祉	春	月	4	臨床心理学概論/渡邊 郁子	保
2			火	1	乳幼児・児童心理学/脇谷 順子	保
3			木	2	Introduction to Global Health Issues/北島 勉 ★	総
4			木	4	カウンセリング/脇谷 順子	保
5			金	3	Global Health and Social Justice/岡村 裕 ★	総
6			金	5	食品衛生学/大久 朋子	保
7		秋	月	3	健康スポーツ科学/平澤 愛	保
8			火	1	健康社会学/北島 勉	総
9			火	1	食品栄養学/大久 朋子	保
10			火	2	発達臨床心理学/櫻井 未央	保
11			木	2	老人福祉論/片桐 朝美	保
12			金	3	介護政策論/岡村 裕	総

13		集中	令和4年3月頃 (予定)		救命救助法/宮野 收	保
14	社会・経済	春	月	3	租税法Ⅰ/知原 信良	総
15			火	1	医療経済学/北島 勉	総
16			木	3	メディア・コンテンツと法/尾崎 愛美	総
17			木	5	時事問題研究B/島村 直幸	総
18			木	4	Academic Writing3/M.ジョエル ★	総
19		秋	月	2	出店戦略/加藤 拓	総
20			月	2	租税法Ⅱ/知原 信良	総
21			火	1	家族法/北田 真理	総
22			木	1	生活と法/尾崎 愛美	総
23			観光・語学・異文化交流	春	月	2
24	月	3			福祉観光論/赤嶺 恵理	外
25	火	2			日中比較文化論Ⅰ/詹 満江	外
26	火	4			観光学入門/古本 泰之	外
27	木	5			異文化コミュニケーション/坂本 ロビン ★	外
28	秋	月		2	実用英語演習Ⅱ/ 八木橋 宏勇	外
29		火		2	日中比較文化論Ⅱ/詹 満江	外
30		火		3	観光地理学/小堀 貴亮	外
31		木		4	地域圏研究Ⅱ(韓国)/ 鄭 英淑	外
32		木		5	地域圏研究Ⅲ(北米)/ 坂本 ロビン ★	外

★印の科目は英語で行われる講義です。

注：時期・曜日・時限については変更の可能性があります。

1時限	9:00~10:30	4時限	14:40~16:10
2時限	10:40~12:10	5時限	16:20~17:50
3時限	13:00~14:30	6時限	18:00~19:30

応募方法

当プログラムの履修を希望する方は、応募期間内に次の4点をご準備いただき、本学地域交流課宛に郵送にてご提出ください。

- (1) 「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修願（巻末・所定書式）
 - ・記載内容の確認のため電話連絡をさせていただく場合がありますので、日中連絡のつく電話番号を記載してください。
 - ・これまで行われてきた地域活動や、志望動機を詳細に記載してください。
- (2) 出願レポート [1200字以内]（巻末参照）
- (3) 履修の資格を証明し得る書類（卒業証明書等の入手が困難な方はご相談ください。）
- (4) カラー顔写真（3 cm×2.4 cmの縦長） 2枚
 - ※一枚は履修願に貼付してください。
 - ※もう一枚は履修生カードを作成する際に使用します。

<応募期間>

令和3年2月1日（月）から2月28日（日）当日消印有効です。

<定員>

最大20名

<選考結果の通知・履修料納付>

書類選考の上、令和3年3月8日（月）（予定）に通知を発送致します。
履修許可書とともに同封されている振込用紙で履修料等をお振込みください。
納入確認後、授業要目 をお送りします。

<お問い合わせ> 井の頭キャンパス 地域交流課（C棟1F事務室内）

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

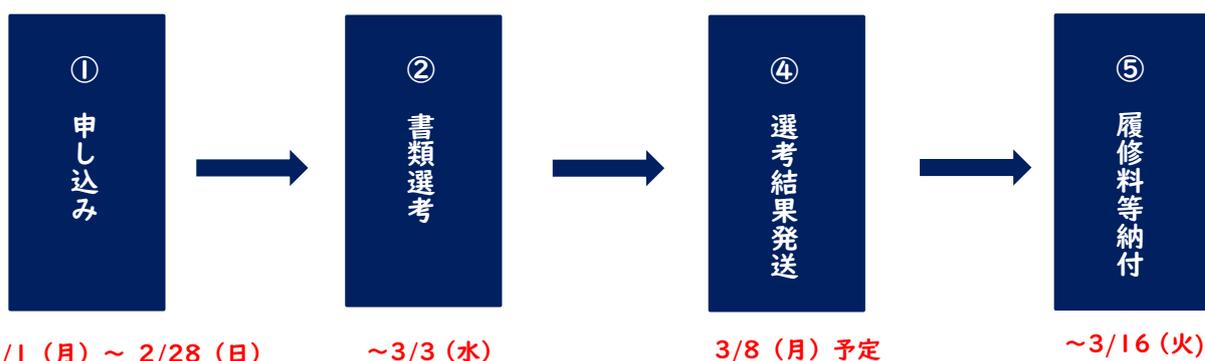
TEL：0422-47-8000（代）FAX：0422-47-8054

MAIL:area@ks.kyorin-u.ac.jp

（平日・9時～17時15分、土・9時～13時、日・祝休）



－ 応募の流れ －



－ 応募後のスケジュール －

令和3年
3月末までに授業要目送付（履修料等納付済みの方）
4月初旬 新学期オリエンテーション
4月5日（月）授業開始
4月中旬 選択科目の提出締め切り

※詳細な日程は改めてご案内いたします。



－ 送付前に再度ご確認ください －

- (1) 「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修願（所定書式） 裏面のアンケートもご記入ください。
- (2) 出願レポート（1200字以内）
- (3) 履修の資格を証明し得る書類（卒業証明書等の入手が困難な方はご相談ください）
- (4) カラー顔写真（3 cm×2.4 cmの縦長）2枚 ※1枚は履修願に貼付



杏林大学 井の頭キャンパス 地域交流課 (C棟1F事務室内)
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
TEL : 0422-47-8000 (代) FAX : 0422-47-8054
MAIL : area@ks.kyorin-u.ac.jp

令和3年度 「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」

履修希望者用出願レポート（1200字以内）※MicrosoftWordでの作成も可

（末尾に文字数を記載してください）

- 課題● ご自身に取り組んでいる、あるいは取り組もうとされている地域活動の概要と現在の課題を紹介してください。その上で、その活動にこの履修証明プログラムでの学びをどのように活かそうと考えて志願されましたか。その理由を説明してください。

記入日： 令和 年 月 日

氏名：

→ 横書きをお願いします。

10

20

キ
リ
ト
リ 10

20

No.

氏名 :

10

20

キ
リ
ト
リ

10

20

28

No.

氏名 :

10

20

10

(200字)

キ
リ
ト
リ